

2011年度第3四半期決算 IR説明会

2012年2月6日



日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。



代表取締役 会長執行役員

細川 知正



- 2011年年間視聴率「三冠王」を奪還
- 連単とともに増収減益
- テレビ広告収入は震災影響から脱却

代表取締役 社長執行役員

大久保 好男



■ 2012年以降も「三冠王」継続目指す

■ 開局60年に向けて
事業ポートフォリオの多様化
コストコントロール継続

取締役 常務執行役員

能勢 康弘

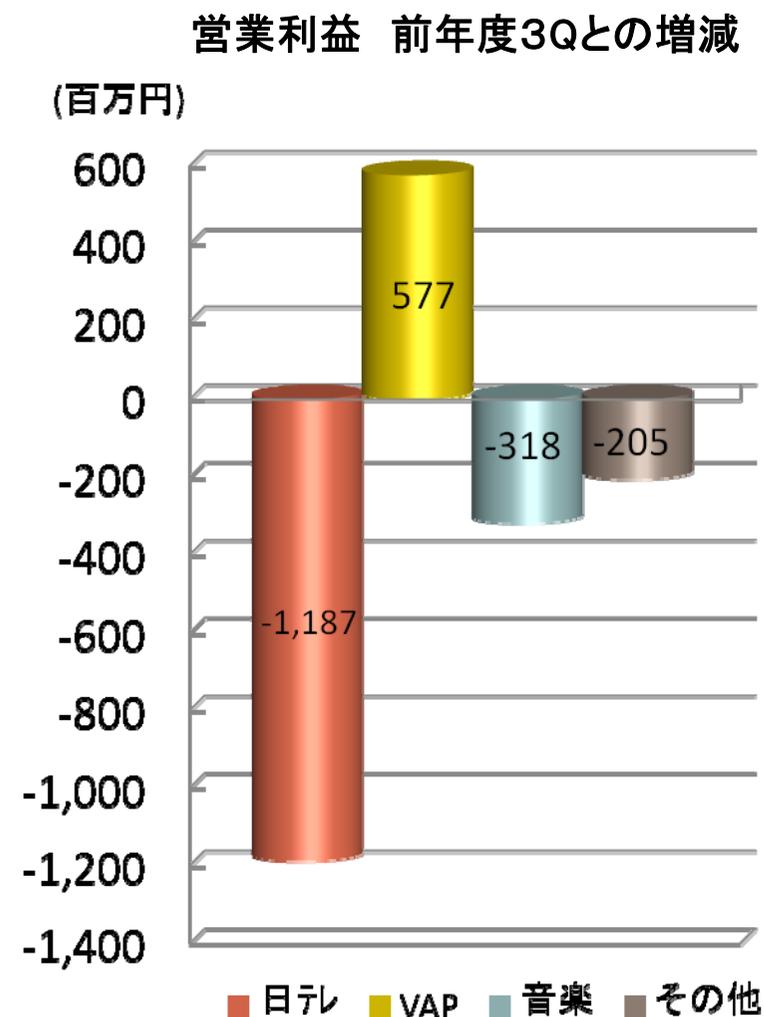


連結 売上高・利益



	2010年度 4-12月	2011年度 4-12月	増減率 (%)
売上高	222,884	225,334	1.1
営業利益	23,424	22,291	△4.8
経常利益	30,087	26,894	△10.6
純利益	16,788	15,038	△10.4

	2010年度 10-12月	2011年度 10-12月	増減率 (%)
売上高	77,911	84,447	8.4
営業利益	11,715	11,992	2.3
経常利益	12,858	13,540	5.3
純利益	7,552	6,902	△8.6



テレビ広告収入－単体－

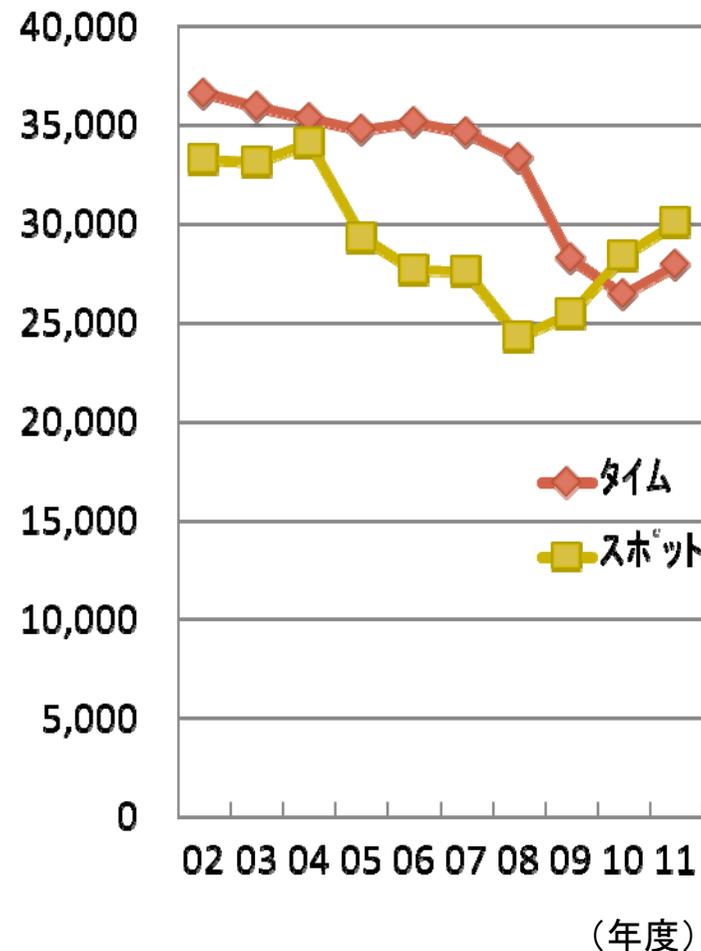


(百万円)

	2010年度 4-12月期	2011年度 4-12月期	比較	増減率 (%)
テレビ 広告収入	156,672	157,945	1,272	0.8
タイム	79,516	80,182	666	0.8
スポット	77,156	77,762	606	0.8

	2010年度 10-12月期	2011年度 10-12月期	比較	増減率 (%)
テレビ 広告収入	54,781	57,980	3,198	5.8
タイム	26,427	27,925	1,497	5.7
スポット	28,353	30,054	1,700	6.0

(百万円) 10-12月期タイム・スポット収入推移



番組制作費—単体—

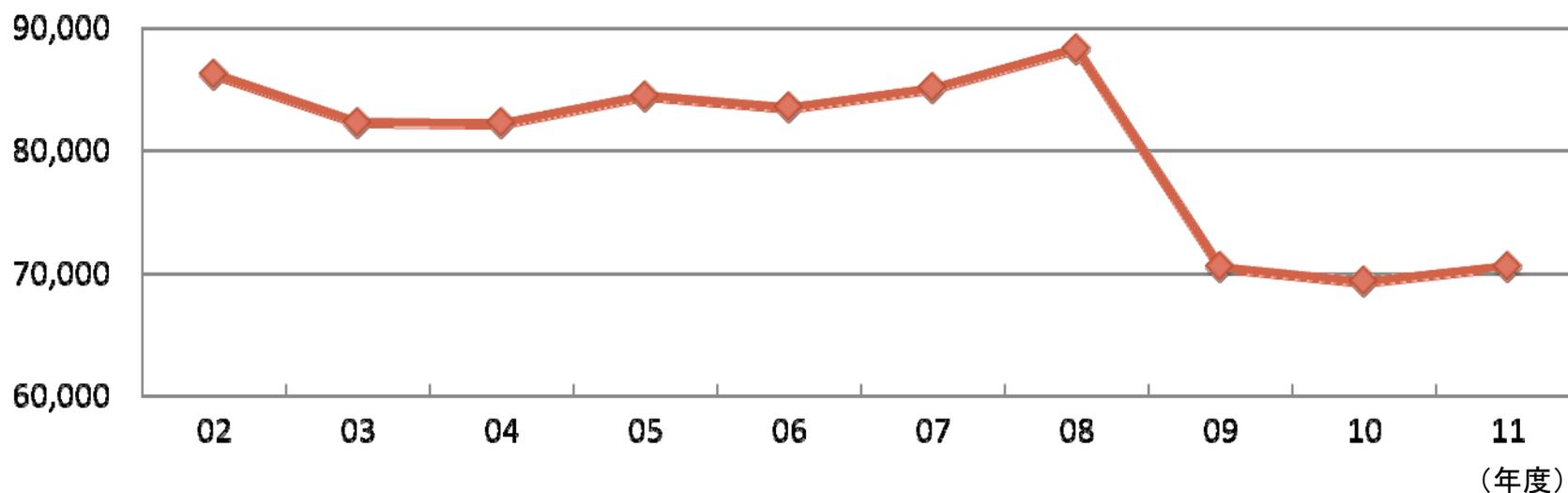


(百万円)

2010年度 4-12月期	2011年度 4-12月期	比較	増減率 (%)
69,296	70,543	1,246	1.8
2010年度 10-12月期	2011年度 10-12月期	比較	増減率 (%)
21,276	23,045	1,768	8.3

第3四半期 年度別番組制作費推移

(百万円)



事業収支



2011年度第3四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用	収入	費用
	2011年度4-12月期		2011年度10-12月期	
イベント	3,999	3,553	748	542
有料放送	4,082	2,124	1,417	753
ライツ(国内)	1,445	722	487	270
ライツ(海外)	411	140	163	62
通販	8,887	8,309	3,332	3,078
出版	573	438	285	172
映画	6,999	6,756	3,416	3,616
その他	1,474	1,574	529	554
合計	27,868	23,615	10,376	9,045

業績予想と前提（変更なし）



2011年度通期業績予想（* 据え置いています）

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	300,500	29,300	34,000	19,300
単体	264,200	25,000	27,300	14,800

単体テレビ広告収入と制作費予想の前提（* 据え置いています）

	下期	通期
テレビ広告収入	3.6%	0.9%
タイム	4.7%	1.6%
スポット	2.5%	0.3%
制作費	8.0%	3.2%

取締役
執行役員編成局長

小杉 善信



2011「年間」視聴率「三冠王」奪還



2011年1～12月(2011/01/03～2012/1/1)視聴率

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	CXとの差 (昨年の差)
全日	8.0	7.4	6.7	2.7	8.0	±0
	①	③	④	⑤	①	(△0.2)
プライム	12.6	12.0	10.1	5.6	12.5	+0.1
	①	③	④	⑤	②	(△0.4)
ゴールデン	12.6	11.7	10.0	6.0	12.5	+0.1
	①	③	④	⑤	②	(△0.7)
ノンプライム	6.6	6.0	5.8	1.8	6.8	△0.2
	②	③	④	⑤	①	(△0.2)

2011「年度」視聴率でも現在「二冠王」



2011/04/04～2012/01/31 視聴率

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	CXとの差 (昨年の差)
全日	7.9	7.4	6.8	2.7	8.0	△0.1
	②	③	④	⑤	①	(△0.2)
プライム	12.7	11.9	10.1	5.6	12.5	+0.2
	①	③	④	⑤	②	(△0.4)
ゴールデン	12.6	11.6	10.0	5.9	12.5	+0.1
	①	③	④	⑤	②	(△0.5)
ノンプライム	6.5	6.1	5.8	1.8	6.7	△0.2
	②	③	④	⑤	①	(△0.2)

8年ぶりに「年間三冠王」奪還



■要因① 平日19時台新番組の成功

月曜19時「宝探しアドベンチャー 謎解きバトルTORE!」
水曜19時「1番ソングSHOW!」

* 10月クール比較

昨年同期比 + 1.6%

昨年同期比 + 3.3%

■要因② プライムタイム新番組が成功

火曜21時「ネプ&イトの世界番付」
火曜22時「スター☆ドラフト会議」

昨年同期比 + 0.7%

昨年同期比 + 1.0%

■要因③ 人気番組の強化に成功

水曜20時「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」
木曜20時「ぐるぐるナインティナイン」

昨年同期比 + 2.7%

昨年同期比 + 1.5%

■要因④ 10月クール連続ドラマが大成功

水曜22時「家政婦のミタ」
土曜21時「妖怪人間ベム」

昨年同期比 + 11.6%

昨年同期比 + 4.5%

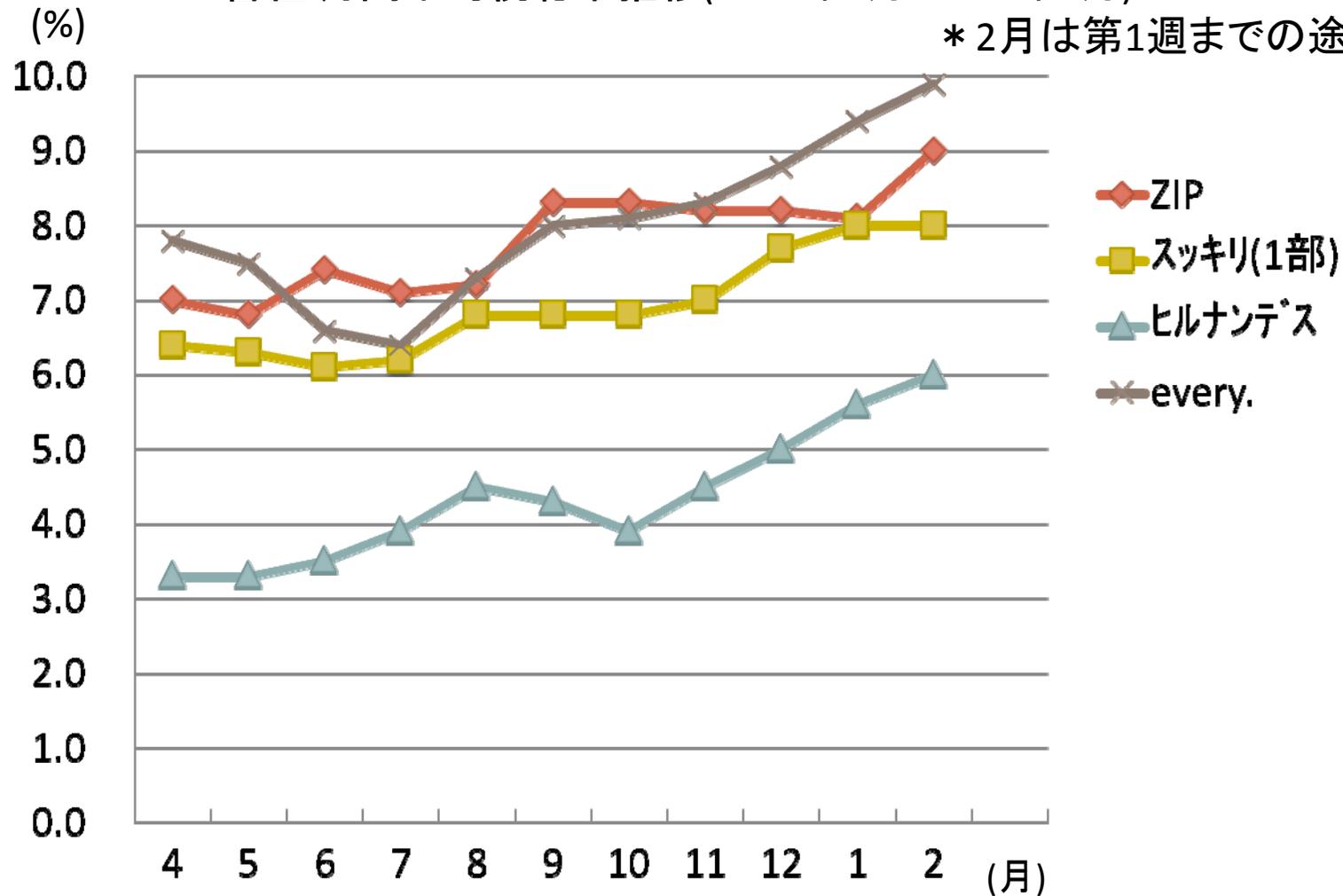
■要因⑤ 新しいベルト番組「ZIP!」、「ヒルナンデス」の伸長

「ZIP」、「スッキリ」などベルト番組好調



ベルト番組 月間平均視聴率推移(2011年4月~2012年2月)

* 2月は第1週までの途中経過



■ 編成理念「ココロ、かよう。ヒト、つながる。」

■ 編成方針「テレビがド真ん中」

■ 「構造改革」⇨「価値創造」

- ① 23時～25時の戦略
- ② メディアデザインセンターとの連動
- ③ 午前帯ベルト「ママモコモてれび」

■ レギュラー番組の強化・視聴率トップ

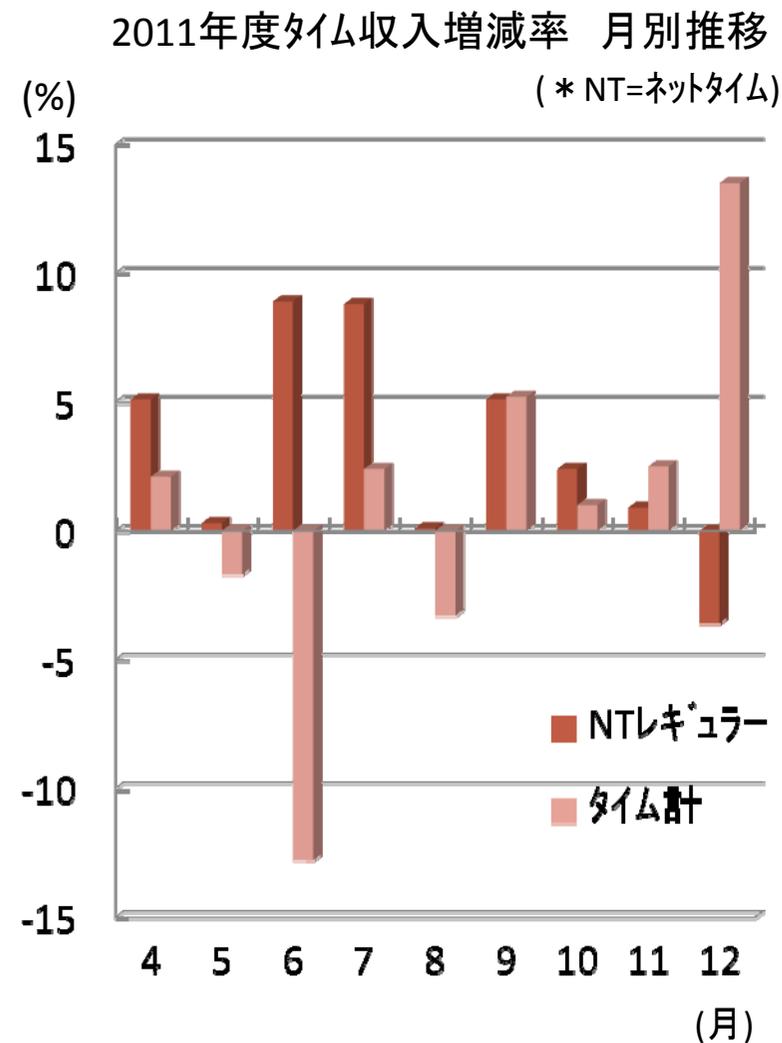
- ① 弱点補強&フロー強化
- ② コアターゲット完全制覇



テレビ広告収入 -タイム-



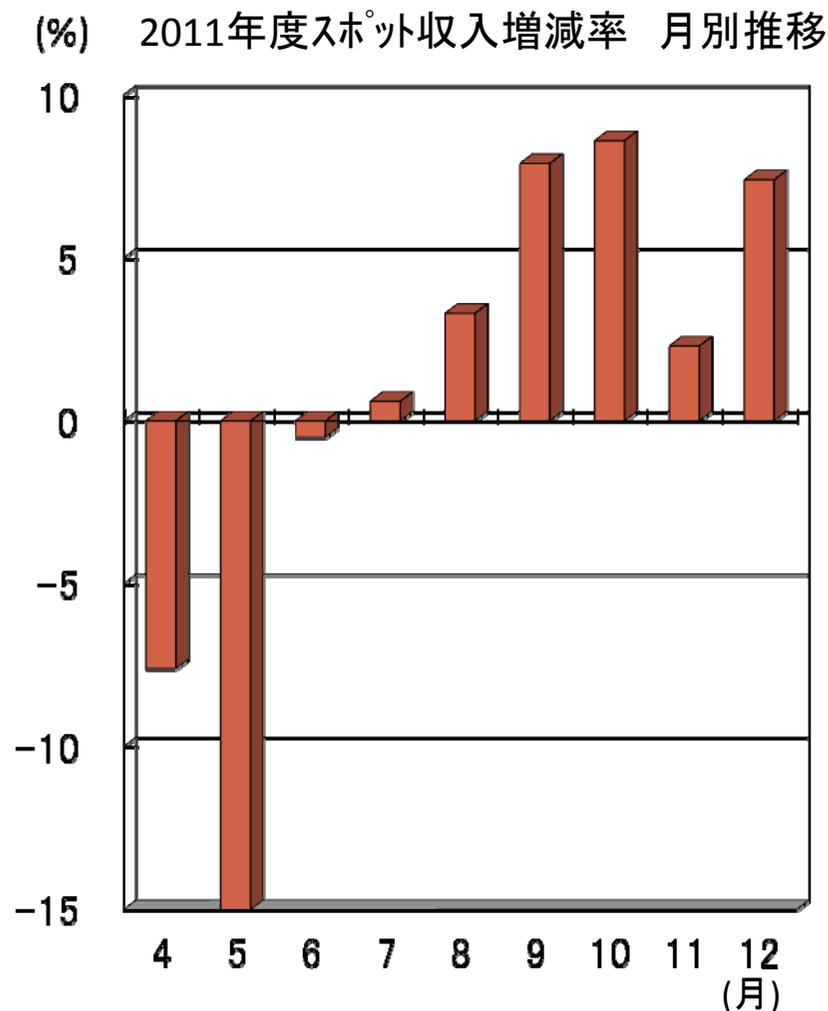
タイム収入	2010年度	2011年度
4月	△7.4%	2.1%
5月	△5.7%	△1.7%
6月	6.2%	△12.8%
7月	△2.9%	2.4%
8月	△5.1%	△3.3%
9月	△8.8%	5.2%
10月	1.5%	1.0%
11月	△14.4%	2.5%
12月	△5.9%	13.5%
10-12月	△6.5%	5.7%
4-12月	△4.8%	0.8%



テレビ広告収入 – スポット –



スポット	2010年度	2011年度
4月	15.6%	△7.6%
5月	15.3%	△15.0%
6月	8.7%	△0.5%
7月	13.5%	0.6%
8月	13.2%	3.3%
9月	4.5%	7.9%
10月	12.0%	8.6%
11月	10.9%	2.3%
12月	11.7%	7.4%
10-12月	11.5%	6.0%
4-12月	11.7%	0.8%



スポット業種別売上シェア(10-12月)



2011年度 10-12月期		シェア	増減率(%)	2010年度 10-12月期		シェア	増減率(%)
1	化粧品・トイレタリー	12.4	0.8	化粧品・トイレタリー	13.0	39.1	
2	電気機器	8.9	△ 19.0	電気機器	11.7	25.7	
3	運輸・通信	8.3	△ 8.9	運輸・通信	9.6	51.6	
4	薬品	7.8	7.5	薬品	7.7	△ 1.1	
5	輸送機器	6.5	26.3	輸送機器	5.5	10.5	
6	卸売・百貨店	5.9	47.5	非アルコール飲料	4.4	60.1	
7	映画・演劇興行	5.3	55.5	卸売・百貨店	4.3	62.2	
8	非アルコール飲料	5.0	18.8	サービス	4.1	△ 19.3	
9	スポーツ・趣味用品	4.3	18.8	金融・保険業	4.1	8.9	
10	サービス	4.0	4.3	アルコール飲料	3.9	△ 36.1	
	その他	31.7	5.6	その他	31.8	17.1	
	合計	100.0		合計	100.0		

設備投資と減価償却



(億円)

2011年度 4-12月	設備投資額	減価償却費
連結	31	53
単体	18	48

連結 予想	設備投資額	減価償却費
2011年度	60	75

単体 予想	設備投資額	減価償却費
2011年度	48	65
2012年度	72	75
2013年度	69	78

セグメント別ー実績と予想ー



(百万円)

4-12月期実績	コンテンツビジネス	不動産賃貸	その他	調整額	連結FS
売上高	221,529	5,513	2,146	△3,854	225,334
営業費用	200,571	4,155	2,170	△3,854	203,043
営業利益	20,957	1,357	△24	—	22,291

通期予想	コンテンツビジネス	不動産賃貸	その他	調整額	連結FS
売上高	295,400	7,100	2,600	△4,600	300,500
営業費用	267,810	5,320	2,670	△4,600	271,200
営業利益	27,590	1,780	△70	—	29,300

* 今回、業績予想の修正はありません

(百万円)

	2010年度 4-12月	2011年度4-12月	比較	増減率(%)
売上高	17,084	16,910	△173	△1.0
営業利益	73	651	577	783.6

今期の分析

■売上高・利益分析

- 販売受託しているトイズファクトリーの売上減
- プロ野球の球団権利収入が配信ゲームの伸びで大幅にアップ
- 原価率の低減により増益

■ 今後の経営戦略

- ① 一層の映像部門強化 (特にアニメ関連事業への積極投資)
- ② 新規の営業・販売ルートの開拓
- ③ 他の放送局とのビジネス拡大

2011年度 日テレ映画ラインナップ



公開日	作品名	配給	備考
11/26	映画 怪物くん	東宝	大野智(「嵐」)主演の人気土曜ドラマの映画化。興行収入30億円を突破(1月最終週現在)
12/21	ワイルド7	ワーナー	犯罪者7人が超法規的存在として悪を裁く。1970年代に日テレでドラマになったコミックを実写化
1/21	ALWAYS 三丁目の夕日'64	東宝	大ヒットシリーズ第3弾。1964年、五輪を控えた東京が舞台。興行収入は好調に推移
2/11	逆転裁判	東宝	主演:成宮寛貴。女性に人気のゲームソフトを三池崇史監督が実写映画化

通販事業



2011年度4-12月期 収入・収支

	2010年度	2011年度
収入	8,550	8,887
収支(利益)	826	578

(百万円)

■過去最高の売上達成

- ・ネット局の放送などで売り場面積拡大
- ・売れ筋商品の的確な販売計画
- ・特別番組が好調

■第4四半期の戦略

- ・特別番組で
韓国ビューティー&ファッション情報を紹介
- ・より一層の系列局展開
特番中心に系列局展開し、売場面積確保
- ・レギュラー番組の充実
- ・顧客満足度の向上

日テレ通販 2011年度第3四半期売上ベスト5



①ダイソン DC26(掃除機)



②お風呂丸ごとリフォームサービス



③no!no!HAIR (美容雑貨)



④genten牛革オリジナルバッグ



⑤MAXX NEW YORK牛革
2WAYホーホーバッグ

2012年度 編成トピックス



①巨人戦中継 ⇨2012年度もジャイアンツ主催試合を地上波、BS、CSの3波で放送

・地上波 22試合(ナイター6試合、デーゲーム16試合)

・BS日テレ 56試合(トップ&リレ-5試合別途)

・日テレG+ 72試合(全試合)完全中継

野球大好きなタレントによる副音声実況、好評の審判カメラ、データ放送でも新企画

②つなげよう、ecoハート。

「24時間テレビ」、「箱根駅伝」に並ぶ大型企画に成長

去年は震災後、「明日へのチカラ」をキャンペーンテーマとして放送

ことしも、G・P帯中心にエコ関連番組を編成予定

③24時間テレビ

ことしは35回目。メインパーソナリティーは嵐

④期末期首・戦略週(キャンペーンウィーク)編成

G・P帯の絶好調レギュラー番組拡大や大型特番を予定



NITTELE DA BEAR